

4月30日に発生した、東みよし町での自転車死亡事故について

4月30日午後、東みよし町西庄の県道44号線で、サイクリング中の67歳の男性が、転落により死亡する事故が発生しました。現場は栈敷峠から4km地点にある急な下り坂で、200mほどの直線の後の左カーブです。三好警察署によると、カーブを曲がりきれずにガードレールに衝突し、はずみで道路外の杉林に転落されたようです。

大会直前のルート上(C・SSコース)での死亡事故であり、事務局としても重大な事態と捉え、三好警察署ほか関係機関に事故状況を照会し現場の確認を行いました。

大会コースには、急な下り坂やカーブが多数あります。スピードを出し過ぎるとカーブを曲がりきれずに道路を逸脱したり、自動車等と衝突する危険もあります。また、長い下り坂でブレーキを多用するため、握力の低下で思ったように減速できなかったり、整備不良でブレーキが緩むこともあり車体整備にも注意が必要です。

「ツール・ド・にし阿波」では、険しい山岳コースを長距離走行します。安全確保には最大限の対策を講じていますが、事故防止のためには、何よりも参加者のみなさん自身が交通ルールやマナーを遵守し、安全に走行することが大切です。

大会参加予定者のみなさまには改めて安全走行をお願いし、無事故で大会が開催できるよう万全を期す所存ですので、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今回事故に遭われた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

平成29年5月1日

NPO法人ツールドにし阿波プロジェクト